

# ロボットづくり「面白い」

登録したセンサーでコースを読み取り、自動的にハンドルを切るロボットカーの工作体験が二十四日、福島市のコラッセふくしまで行われ、小学生らが電子工作の楽しさを満喫した。この企画は同市産業交流プラザが開催した「ふくしま産業交流フェア2007」の一コーナーとして行われた。

## 福島 小学生ら工作体験



はんだ付けした回路を大学生からチェックしてもらった参加者



完成したライントレースロボットを走らせる小学生

参加したのは子どもたちと父母ら約二十組。福島大・共生システム理工学類の高橋隆行教授が指導する創造工房ゼミが本年度の講義で開発したライントレースロボット「ライト君一号」のキットとマニュアルを使い工作に挑戦した。同大の鄭聖薫研究員と学生らが指導に当たった。

子どもたちは、多くがはんだごてを使い回路を組み上げる作業が初めてとあって悪戦苦闘しながらも、ロボットづくりに熱中。同市・笹谷小六年の鈴木雄太君(二)は「難しいけれど面白

い」と話していた。